

2004年10月21日

立会外分売サービスの開始

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社（代表取締役社長：國重惇史、本社：東京都港区）は、11月1日より立会外分売サービスを開始いたします。

立会外分売は、東証や大証が立会時間外で大量の売注文を分売する売買方法ですが、ここ1～2年、一部のネット証券で取扱いを始めたことから、ネット取引を行う個人投資家にとって一般的なサービスになりつつあります。また最近では企業側の当該サービスへの認知も高まり、分売を活用する企業数も増加しつつあります。

弊社では、お客様からのニーズと企業側の利用度の高まりを踏まえ、当該サービスを開始することといたしました。

立会外分売では、個人投資家は買付手数料を支払うことなく株式を入手できる上、分売される株式が通常前日終値の3～5%程度割り引かれるため割安に入手できるなどのメリットがあります。

また企業は分売を通じて、取引時間中にまとまった株数の株式を一度に売り出して株価が大きく値下がりするリスクを回避しつつ、大株主である銀行やオーナー経営者などの保有株を小口に分けて不特定多数に売り出し、新規株主を増やしたり、流動性を高めることが可能となります。

弊社では、お客様へのサービスレベルの向上を図るとともに、約20万人の顧客を基盤とした買いニーズを着実に確保することで分売シェアを高め、プラス収益に結びつけてまいりたいと考えています。

楽天証券は、1999年3月に設立された日本で最初のインターネット取引専門の証券会社です。楽天株式会社(96.7%)と三井住友銀行(3.3%)が株主となっています。